

（1面より）

2020年9月に日本医師会が「EpiNet」による感染の被害を受けた経緯と、その後に行ったパスワード変更機能の実装やセキュリティ講習会の実施等の対策を報告した。

第2日

IV. 地域医療情報連携 ネットワーク（コロナ禍での有用性）

セッションIVでは、まず、濱本勲香川県医師会常任理事が、令和3年4月より香川県の事業として運用を開始したレセプト参照システム「KIMIXR BASIC」について、新型コロナウイルスの集団接種会場での基礎疾患の把握等に活用していることなどを紹介した。

秋本悦志広島県・安芸地区医師会理事は、在宅医療に関わる休日夜間の負担を減らすため、土日に副主治医が看取りを含む代診を行うシステムである「主治医副主治医制」を、ICTを用いて運用していることを説明。効率を考えた場合、「医療介護、いち患者いちID」が望ましいとした。

島貴隆夫山形県酒田地区医師会理事は、県境医療の一助及び大規模災害などにおける医療情報の広域連携を実現することを目的とした、県境を越

えた医療情報連携ネットワーク「秋田・山形つばさネット」の有効活用事例や課題を報告した。

宮本大熊熊本県医師会医療情報委員会委員長は、熊本県、熊本大学病院、熊本県医師会との間で2014年に締結された三者協定の下、医療介護総合確保基金事業として運用している「くまもとメディカルネットワーク」について、その有用性及び継続的に運営するための課題等を説明した。

佐原博之石川県医師会理事は、2014年に運用を開始し、約600の情報閲覧機関が参加している「いしかわ診療情報共有ネットワーク」について、コロナ禍における有効活用事例を報告。「緊急時にこそ、ICTによる迅速な情報共有が有効」とした。

加藤久和奈良県宇陀地区医師会会長は、2020年から病院（地域連携）での利活用が本格化した地域医療介護情報連携ネットワーク「宇陀けあネット」について、コロナ禍における有効活用事例や費用対効果への考え方を、未来構想に関して

説明を行った。

阿南英明神奈川県理事（医療危機対策担当）は、「機能集約と役割分担」を基本理念とした「神奈川モデル」と呼ばれる全県のコロナ診療体系について、医療機関の資機材、病床の空きや利用状況を相互にオープンデータとして共有できる情報基盤を整備したことの意義を強調するとともに、実際の運用例などを紹介した。

中野智紀東埼玉総合病院地域糖尿病センター長は、157医療機関が参加している他、介護施設

の連携も行い、約3.5万人の市民も加入している埼玉利根保健医療圏医療ネットワークシステム「とねっと」について、その特徴やコロナ禍での活用事例、今後の課題を説明した。

牧野憲一北海道・旭川市医師会副会長／旭川赤十字病院院長は、公的病院と診療所間、公的病院間における診療情報共有を目的とした旭川市医師会の地域医療情報連携ネットワーク「たいせつ安心医療ネット」について、

コロナ禍で情報共有に役立つこと及び今後の展望などを紹介した。



総合討論では、地域での多職種連携やサイバーセキュリティなどに関する質問に対し、演者が回答を行った。

山本理事長は、青森県八戸市での、在宅医療を中心とした医療介護関係者の多職種連携におけるICTツールの活用事例を紹介し、情報共有がコロナ禍で有用であったことを説明した。

総論では、長島常任理事は、地域医師会、品川区医師会による、コロナ診療の仕組みである「品川モデル」について、その目的や背景、方法を説明。運用の中で出てきた具体的な不安点及びその対応状況等について概説した。

最後に、長島常任理事が、日本医師会AIホスピタル推進センターについて、その役割並びに取り組みについて説明。同常任理事は、地域医師会、会員医師にAIホスピタルへの参画を呼び掛けることも、AIホスピタルが目指すものとして、「ビッグデータ解析やAI技術の活用によるITや医療機器等の開発と普及による質の高い治療技術の導入を挙げ、医療界と産業界が協力することにより社会実装と普及が進む」とした他、AIパッケージシステムの国際展開は国の経済活性化にも寄与するとの見方を示した。

質疑応答では、ICTに関するコスト面での対応を求める意見や、各技術の将来的な展望等について質問が出された。

V. 新しい時代の診療形態

セッションVでは、山本隆一医療情報システム開発センター理事長が、「オンライン診療の適切な実施に関する指針」の概要と2017年の制定時からの変遷、更なるIT技術の進歩を前提とした今後の検討課題等を説明した。

西村直久埼玉県医師会理事は、オンライン診療について、コロナ禍における限定的・特例的対応により種々の要件が緩和され、適正利用のための指針の策定が求められる中、同県医師会の取り組みとして、医師法、医療法に照合の上、医療の安全性、有効性、継続性を高め、疾患見逃し等の患者の不利を回避するための提言を行ってきたことなどを報告した。

小泉圭吾鳥羽市立神島診療所長は、離島医療におけるICTの活用について、同市で計画されたグループ診療と遠隔診療、多職種連携により、面で離島地域を支援する「品川モデル」について、その目的や背景、方法を説明。運用の中で出てきた具体的な不安点及びその対応状況等について概説した。

最後に、長島常任理事が、日本医師会AIホスピタル推進センターについて、その役割並びに取り組みについて説明。同常任理事は、地域医師会、会員医師にAIホスピタルへの参画を呼び掛けることも、AIホスピタルが目指すものとして、「ビッグデータ解析やAI技術の活用によるITや医療機器等の開発と普及による質の高い治療技術の導入を挙げ、医療界と産業界が協力することにより社会実装と普及が進む」とした他、AIパッケージシステムの国際展開は国の経済活性化にも寄与するとの見方を示した。



山本理事長

「品川モデル」について、その目的や背景、方法を説明。運用の中で出てきた具体的な不安点及びその対応状況等について概説した。

最後に、長島常任理事が、日本医師会AIホスピタル推進センターについて、その役割並びに取り組みについて説明。同常任理事は、地域医師会、会員医師にAIホスピタルへの参画を呼び掛けることも、AIホスピタルが目指すものとして、「ビッグデータ解析やAI技術の活用によるITや医療機器等の開発と普及による質の高い治療技術の導入を挙げ、医療界と産業界が協力することにより社会実装と普及が進む」とした他、AIパッケージシステムの国際展開は国の経済活性化にも寄与するとの見方を示した。

質疑応答では、ICTに関するコスト面での対応を求める意見や、各技術の将来的な展望等について質問が出された。

最後に、長島常任理事が、日本医師会AIホスピタル推進センターについて、その役割並びに取り組みについて説明。同常任理事は、地域医師会、会員医師にAIホスピタルへの参画を呼び掛けることも、AIホスピタルが目指すものとして、「ビッグデータ解析やAI技術の活用によるITや医療機器等の開発と普及による質の高い治療技術の導入を挙げ、医療界と産業界が協力することにより社会実装と普及が進む」とした他、AIパッケージシステムの国際展開は国の経済活性化にも寄与するとの見方を示した。

VI. 医療DXを進めるための先進ICT技術

引き続き、セッションVIでは、杉本真樹帝京大学沖永総合研究所教授／Innovation Lab室長が、医療現場のデジタル革新が進み、仮想現実や拡張現実、複合現実が注目される中、これらを併せたXR(Extended reality)技術が、医用画像解析を中心にオンライン遠隔医療や手術支援、医学教育などで活用が広がっていることなどを映像を交えながら紹介した。

水島洋国立保健医療

水島洋国立保健医療



菊岡神奈川県医師会会長

閉会式

閉会式では、次期担当県の菊岡正和神奈川県医師会会長が次回開催に向けた抱負を述べた後、運営委員会委員の小室保尚埼玉県医師会常任理事が2日間の協議会を総括し、閉会となった。

日本医師会

定例記者会見

3月2日

新型コロナウイルス感染症の 現況について



引き続きのマスク着用、手洗い、換気、密を避けるなどの感染対策の徹底を呼び掛けた。

感染状況・まん延防止等重点措置

中川俊男会長は、新型コロナウイルス感染症の感染状況、まん延防止等重点措置、小児へのワクチン接種や追加接種について、日本医師会の見解を説明するとともに、引

中川会長は、31都道府県で3月6日まで適用されている「まん延防止等重点措置」について、首都圏、中京圏、関西圏を中心に期限が2週間程度

規感染者数が更に増加する可能性があるとして、「医療提供体制が逼迫している地域のまん延防止等重点措置の延長はやむを得ない」との認識を示

した。また、欧州では感染者数、死亡者数が多い中でも規制を緩和する動きが見られることに触れ、日本ではマスク着用や消毒などの公衆衛生意識の高さにより、諸外国に比べて感染者数、死亡者数を低く抑えてきたと評価した上で、「感染対策と社会経済活動の両立は理解しているが、国民の生命と健康を守るといふ観点から、今すぐにさまざま

な制限を大幅に緩和できる状況にはない」と述べた。

その他、2月17日に岸田文雄内閣総理大臣が表明している、まん延防止等重点措置区域における、電話等による初再診

ワクチン接種

5〜11歳の小児に対するワクチン接種については、子どもの多くは軽症であるが、家庭内で養育者や兄弟姉妹、重症化リスクの高い高齢者への感染につながり、休園・休校、養育者の就業停止など、社会活動や医療提供へも影響が広がる指摘。子どもが、正しく基本的な感染防止策を行うのは限界もあるとして、小児のワクチン接種には、家庭内にウイルスを持ち込みにくくするメリットがあると強調した。

また、厚生労働省が小児のワクチン接種による副反応について、接種部位の痛みや倦怠感、頭痛、発熱等の症状が確認されているが、大半が軽度または中等度で回復し、安全性に重大な懸念は認められていないと報告していることを紹介し、「2年間にわたる新型コロナウイルスによる生活環境の変化によって、子ども達の身体的、心理的、社会的な発育に与えてきた影響は計り知れない。子どもを新型コロナウイルスから守り、学ぶ機会、遊ぶ機会を確保する観点から、日本医師会として小児への接種を推奨する」と強調。特に、基礎疾患のある小児、医療的ケア児を優先すべきとした上で、「ワクチンの効果や副反応等の情報を総合的に判断し、子どもと養育者が納得した上で接種することが原則である。接種の強要や接種を受けさせないような妨害、接種を受けたあるいは受けにくいことによる差別やいじめはあってはならない」と主張した。

その一方で、5〜11歳までのワクチン接種の感染予防効果が、12〜17歳と比べ早く弱まるというニューヨーク州の調査結果が査読前論文として公表されたことにも触れ、

められていないと報告していることを紹介し、「2年間にわたる新型コロナウイルスによる生活環境の変化によって、子ども達の身体的、心理的、社会的な発育に与えてきた影響は計り知れない。子どもを新型コロナウイルスから守り、学ぶ機会、遊ぶ機会を確保する観点から、日本医師会として小児への接種を推奨する」と強調。特に、基礎疾患のある小児、医療的ケア児を優先すべきとした上で、「ワクチンの効果や副反応等の情報を総合的に判断し、子どもと養育者が納得した上で接種することが原則である。接種の強要や接種を受けさせないような妨害、接種を受けたあるいは受けにくいことによる差別やいじめはあってはならない」と主張した。

追加接種に関しては、オミクロン株に対してもワクチンの発症予防効果、死亡抑制効果があることについて、国立感染症研究所と英国保健安全保障庁の研究結果が示されていることを説明。高齢者施設ではクラスターが多発していることを踏まえ、高齢者施設の職員や入所者への積極的

その事実が確認されれば、投与量の変更や追加接種などの早急な見直しが必要になるとした。

また、日本医師会公式YouTubeチャンネルでもワクチン接種の疑問や不安に答える動画「進めよう。ワクチン接種」を公開していることを紹介し、実際の接種に際しては、かかりつけ医に相談するよう呼び掛けた。

ランサムウェアによるサイバー攻撃にご注意願います

企業を標的としたランサムウェア（身代金要求型ウイルス）によるサイバー攻撃（コンピューターウイルスの感染等）が報道されていますが、医療機関が被害を受ける可能性も十分にあります。

各医療機関におかれましては万が一、サイバー攻撃を受けた疑いがある場合、あるいは受けてしまった場合には、以下のようなお対応をお願いいたします。

○サイバー攻撃を受けた疑いがある場合

被害の拡大を防ぐため、直ちにご利用の情報システムの保守事業者等に連絡して、指示を仰いで下さい。

○診療系情報システムの停止や個人情報の流出等の被害等が発生した場合

下記にご連絡願います。

▶厚生労働省医政局研究開発振興課医療情報技術推進室

☎03-3595-2430 ✉igishitsu@mhlw.go.jp

なお、一般的な情報セキュリティ（主にウイルスや不正アクセス）に関する技術的な相談をしたい場合には、下記の相談窓口もご活用願います。

▶情報処理推進機構（IPA）情報セキュリティ安心相談窓口

https://www.ipa.go.jp/security/anshin

☎03-5978-7509（平日10：00～12：00、13：30～17：00）

✉anshin@ipa.go.jp

多くの国民が診療・検査医療機関を探しています。 診療・検査医療機関の公表にご協力を！

オミクロン株の感染が拡大する中で、診療・検査医療機関がどこにあるのか、どのように診療の予約をすれば良いのかをお知らせすることは、国民の皆様の安心ばかりでなく、医療機関に対する信頼にもつながります。

現在では、埼玉県、高知県の他、東京都でも全ての診療・検査医療機関が公表されるようになりました。

「かかりつけの患者さんのみ」「診療時間を決めて」といった公表も認められていますので、ぜひ、その公表にご協力をお願いします。



も影響が広がる指摘。子どもが、正しく基本的な感染防止策を行うのは限界もあるとして、小児のワクチン接種には、家庭内にウイルスを持ち込みにくくするメリットがあると強調した。

また、厚生労働省が小児のワクチン接種による副反応について、接種部位の痛みや倦怠感、頭痛、発熱等の症状が確認されているが、大半が軽度または中等度で回復し、安全性に重大な懸念は認められていないと報告していることを紹介し、「2年間にわたる新型コロナウイルスによる生活環境の変化によって、子ども達の身体的、心理的、社会的な発育に与えてきた影響は計り知れない。子どもを新型コロナウイルスから守り、学ぶ機会、遊ぶ機会を確保する観点から、日本医師会として小児への接種を推奨する」と強調。特に、基礎疾患のある小児、医療的ケア児を優先すべきとした上で、「ワクチンの効果や副反応等の情報を総合的に判断し、子どもと養育者が納得した上で接種することが原則である。接種の強要や接種を受けさせないような妨害、接種を受けたあるいは受けにくいことによる差別やいじめはあってはならない」と主張した。

その一方で、5〜11歳までのワクチン接種の感染予防効果が、12〜17歳と比べ早く弱まるというニューヨーク州の調査結果が査読前論文として公表されたことにも触れ、

められていないと報告していることを紹介し、「2年間にわたる新型コロナウイルスによる生活環境の変化によって、子ども達の身体的、心理的、社会的な発育に与えてきた影響は計り知れない。子どもを新型コロナウイルスから守り、学ぶ機会、遊ぶ機会を確保する観点から、日本医師会として小児への接種を推奨する」と強調。特に、基礎疾患のある小児、医療的ケア児を優先すべきとした上で、「ワクチンの効果や副反応等の情報を総合的に判断し、子どもと養育者が納得した上で接種することが原則である。接種の強要や接種を受けさせないような妨害、接種を受けたあるいは受けにくいことによる差別やいじめはあってはならない」と主張した。

追加接種に関しては、オミクロン株に対してもワクチンの発症予防効果、死亡抑制効果があることについて、国立感染症研究所と英国保健安全保障庁の研究結果が示されていることを説明。高齢者施設ではクラスターが多発していることを踏まえ、高齢者施設の職員や入所者への積極的

その事実が確認されれば、投与量の変更や追加接種などの早急な見直しが必要になるとした。

また、日本医師会公式YouTubeチャンネルでもワクチン接種の疑問や不安に答える動画「進めよう。ワクチン接種」を公開していることを紹介し、実際の接種に際しては、かかりつけ医に相談するよう呼び掛けた。

第31回日本医学学会総会 第2回記者発表会

「ビッグデータが拓く未来の医学と医療」豊かな人生100年時代を求めて」をテーマに

来年開催



望、COVID-19に関する世界・日本の対応にも触れられる本総会には、現在日本が直面している多くの問題の解決の糸口になる」と期待を寄せた。

門田守人日本医学学会長は、1902年に創設され、120年の節目を迎えた日本医学学会の歩みを振り返り、「創設時の平均寿命は45歳程度だったが、今はその倍に延びた。一方、人口はピークを超え、減少に差し掛かってきている。そういう時代にある我々が、医学をどう考え、社会への責務を果たすのか、未来に向けて展開できる会議にしたい」と述べた。

引き続き、第31回日本医学学会総会の会頭を務める春日雅人朝日生命成人病研究所長/国立国際医療研究センター名誉理事長が開催概要を説明。第31回の特色として、学会と展示(博覧会)が同一エリアで、また、会場参加とWEB参加のハイブリッド方式で行われることを挙げ、「現地で参加頂けない場合も、WEBで講演を聞いたり、展示を見て頂くことができ、一部の講演はオンデマンド配信も予定してい

る」とした。門脇孝同準備委員長(国家公務員共済組合連合会虎の門病院院長/東京大学名誉教授)は、組織委員会の下で、新設された「ダイバーシティ推進委員会」を含め10の委員会が準備を進めていることを報告。臨床系、基礎系、社会医学・看護系、工医学系を中心に約50セッションのプログラムを

策定している他、COVID-19に関する世界・日本の対応などの特別企画も検討しているとし、対抗するインベシジョン立国による挑戦——の五つを柱として検討していることを概説。また、優れた医学的業績を上げた若手研究者を表彰し、今後の医学を活性化するため、40歳以下を対象とした「第31回日本医学学会総会奨励賞」を設け、総会最終日に発表と授賞式を行う予定であるとされた。

青木茂樹展示委員長(順天堂大学放射線科教授)は、展示について、①医療従事者向けの学術展示では、最新の医療機器や医療情報システムなどの企業展示で学術講演を補完する②一般市民向けの博覧会では、東京国際フォーラムから丸の内・有楽町エリアでの複数箇所で開催を行い、オフィスワーカーの参加も呼び掛ける③医学史展示では、順天堂大学の日本医学教育歴史館をバーチャル化する——ことを説明。リアル展示とリンクする形のオンライン博覧会も準備中であるとされた。

また、優れた医学的業績を上げた若手研究者を表彰し、今後の医学を活性化するため、40歳以下を対象とした「第31回日本医学学会総会奨励賞」を設け、総会最終日に発表と授賞式を行う予定であるとされた。

青木茂樹展示委員長(順天堂大学放射線科教授)は、展示について、①医療従事者向けの学術展示では、最新の医療機器や医療情報システムなどの企業展示で学術講演を補完する②一般市民向けの博覧会では、東京国際フォーラムから丸の内・有楽町エリアでの複数箇所で開催を行い、オフィスワーカーの参加も呼び掛ける③医学史展示では、順天堂大学の日本医学教育歴史館をバーチャル化する——ことを説明。リアル展示とリンクする形のオンライン博覧会も準備中であるとされた。

また、優れた医学的業績を上げた若手研究者を表彰し、今後の医学を活性化するため、40歳以下を対象とした「第31回日本医学学会総会奨励賞」を設け、総会最終日に発表と授賞式を行う予定であるとされた。

また、優れた医学的業績を上げた若手研究者を表彰し、今後の医学を活性化するため、40歳以下を対象とした「第31回日本医学学会総会奨励賞」を設け、総会最終日に発表と授賞式を行う予定であるとされた。

また、優れた医学的業績を上げた若手研究者を表彰し、今後の医学を活性化するため、40歳以下を対象とした「第31回日本医学学会総会奨励賞」を設け、総会最終日に発表と授賞式を行う予定であるとされた。



第31回日本医学学会総会 2023東京

本総会は、「ビッグデータが拓く未来の医学と医療」豊かな人生100年時代を求めて」をテーマとして、2023年4月21〜23日に学術集会、4月20〜23日に学術

冒頭あいさつした中川俊男会長は、ビッグデータやテクノロジーは社会のあり方の変容のみならず医療のあり方にも大きな変革をもたらすとした上で、「医師の働き方改革の課題や展

示を東京国際フォーラムで、4月15〜23日に博覧会を東京国際フォーラム及び東京丸の内・有楽町エリアで行うことが予定されている。開催まで1年余りとなる今回の記者発表では、プログラムの概要や準備状況について説明がなされた。

冒頭あいさつした中川俊男会長は、ビッグデータやテクノロジーは社会のあり方の変容のみならず医療のあり方にも大きな変革をもたらすとした上で、「医師の働き方改革の課題や展

示を東京国際フォーラムで、4月15〜23日に博覧会を東京国際フォーラム及び東京丸の内・有楽町エリアで行うことが予定されている。開催まで1年余りとなる今回の記者発表では、プログラムの概要や準備状況について説明がなされた。

冒頭あいさつした中川俊男会長は、ビッグデータやテクノロジーは社会のあり方の変容のみならず医療のあり方にも大きな変革をもたらすとした上で、「医師の働き方改革の課題や展

示を東京国際フォーラムで、4月15〜23日に博覧会を東京国際フォーラム及び東京丸の内・有楽町エリアで行うことが予定されている。開催まで1年余りとなる今回の記者発表では、プログラムの概要や準備状況について説明がなされた。

冒頭あいさつした中川俊男会長は、ビッグデータやテクノロジーは社会のあり方の変容のみならず医療のあり方にも大きな変革をもたらすとした上で、「医師の働き方改革の課題や展

日本医学学会創立120周年記念事業を実施



日本医学学会では1902年(明治35年)4月2日の創立から、今年で創立120年を迎えるに当たり、記念事業(記念誌刊行、「未来への提言」の作成、記念式典・シンポジウムの開催)を行うことといたしました。

記念式典・シンポジウム(プログラムは下記参照)は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に鑑み、WEB開催とする他、その模様を後日、日本医学学会創立120周年記念特設サイト(<https://jams.med.or.jp/jams120th/>)にてオンデマンド配信する予定です。ぜひ、ご覧頂きますようお願いいたします。視聴方法等、詳細は特設サイトをご参照下さい。



プログラム 4月2日(土)午後1時~5時10分

- ・式典
 - 式辞 門田守人 日本医学学会長
 - 祝辞 中川俊男 日本医師会会長 他
- ・「日本の近代医学と日本医学学会の歩み—日本医学学会創立120周年記念誌から」
 - 坂井建雄 記念誌委員会委員長/順天堂大学保健医療学部特任教授
- ・シンポジウム「未来への提言」
 - 序論「未来への提言について」(飯野正光「未来への提言」作成委員会委員長/東京大学ニューロインテリジェンス国際研究機構機構長特別補佐/日本医学学会副会長)
 - 1. 「地球規模の健康問題への対応」(遠山千春 東京大学名誉教授)
 - 2. 「超高齢・少子化社会への対応」(稲垣暢也 京都大学大学院医学研究科教授)
 - 3. 「研究力の向上」(宮園浩平 東京大学大学院医学系研究科教授)
 - 4. 「医療倫理・研究倫理の深化」(門脇孝 国家公務員共済組合連合会虎の門病院院長/日本医学学会副会長)
 - 5. 「医療のあり方」(齊藤光江 順天堂大学大学院医学研究科教授)
- ・総合討論

◆問い合わせ先：日本医学学会事務局
☎ 03-3946-2121(代) ✉ igakukai@po.med.or.jp

お知らせ

第31回日本医学学会総会の事前登録の流れ等を説明したチラシ(9~10面)を本紙に同梱してお送りしています。併せてご覧下さい。

書籍紹介



順天堂大脳神経内科ではこうしている
最新パーキンソン病
診療

服部信孝 編



パーキンソン病の研究・治療において、世界を牽引する順天堂大脳神経内科。本書は編者の服部信孝教授を始め、同大学に所属する医師達を執筆陣に迎え、最新のパーキンソン病診療について解説した書籍である。

内容は初診患者の診方から、検査、鑑別診断、治療、そして、新型コロナウイルス感染症を契機に急務となったオンライン診療や、IT技術の活用方法まで、携わる上で押さえておきたい話題を幅広く取り扱っている。

各項目において、専門医の迷いや悩みどころにスポットを当て、それをベースに解説を進めている点特徴であり、読み進める中で新たな学びや気づきを得ることができ

る。本書全体を通して、同大学脳神経内科が行っている最新かつ有効な診療技術が余すところなく解

説されており、パーキンソン病診療をレベルアップしたい全ての医師にお薦めできる一冊となっている。

定価 5940円(税込)
発行 日本医事新報社

小児骨折治療

松村福広 著



小児の減少とともに治療機会が少なくなっていると言われる小児骨折ではあるが、いざ直面すると成長による骨の変化、治療後の機能の維持など、成人や高齢者にはない判断要因があり、そのため治療テクニックが必要となる。

本書では、こうした小児骨折治療における長期予後や技術的側面の不安を解消するために、経験豊富な整形外科医が最新の知見を基に「初期治療」「家族へ説明するポイント」「保存治療」「手術治療」に至るまでを、著者独自のテクニックを交えて解説している。

最大の見どころは、貴重な1200枚に及ぶX線写真・臨床写真とともに、さまざまな骨折の症

禁煙啓発動画「教えて！日医君！新型たばこも吸っちゃダメ！」のデータを差上げます

お知らせ



日本医師会では禁煙啓発動画「教えて！日医君！新型たばこも吸っちゃダメ！」を制作し、日本医師会公式YouTubeチャンネルで公開しています。

本動画では、特に電子たばこや加熱式たばこといった「新型たばこ」の害などについて、日本医師会の公式キャラクターである「日医君」が分かりやすく説明しています。

本紙3月5日号で動画データを差し上げることをご案内したところ、多くの会員の先生ばかりでなく、大学からも禁煙防止活動に使用したいという申し出を頂きました。

引き続き、動画データの提供を行っておりますので、ご希望の方は、(1)所属機関、(2)氏名、(3)電話番号、(4)使用目的を明記の上、日本医師会広報課(kouhou@po.med.or.jp)まで、タイトルを「禁煙動画希望」としてメールでお申し込み下さい。



例の長期経過を複数提示していることである。

患者の診方や判断の勘どころについて、著者と一緒に考え、学ぶことが

玉砕の硫黄島に生きた混成第二旅団野戦病院

野口 巖 著



本書は、元混成第二旅団野戦病院長であった著

者、昭和59年に自費出版したものを改めて出版した書籍である。

第二次世界大戦では、衛生部隊として従軍した多くの医師が尊い命を失った。米軍の攻撃で日本軍がほぼ壊滅状態となった硫黄島もその例外ではなかったが、硫黄島野戦病院では、院長でもあった著者を含めた衛生部隊

が、玉砕後も任務を続ける。しかし、1カ月が過ぎ、水、食料も尽き、残された道は餓死するか、自決するかという状況に追い込まれた中で、著者の機転により、戦死者を除き、医師を含めた衛生部隊全員が捕虜となることなく生還できた奇跡が、本書の中で詳細に描かれている。


硫黄島戦の真実が野戦病院長の目を通して描かれた貴重な資料であり、一読に値する一冊と言える。

定価 1650円(税込) 発行 文芸社

南から北から

新潟県
新潟市医師会報
NO.607より

ユーモアセンスが違う
植木 秀任



以後も冴えない冗談を言
つては、ふとあの時の記
憶が脳裏をよぎることが
あった。

約40年近く経って、当
時の同級生が私のところ
へ患者で来たことを機会
に、私もクラス会にたま
に顔を出すようになった。

最初に興味を持ったの
が家紋で、大名の家紋を
自由ノートにいくつも描
き、覚えたようです。町
を歩いているうちに、丸い家
紋らしきものを見つけた
とついピクンと反応して
しまい、「これはあの島
津家の家紋だよ」とか「柴
田家の家紋は鳥が2つな
んだよ」と得意になって

披露します。クラスの女
の子から「わだくんはれ
きしくわしくてすい
です」というお手紙(少
女漫画のキラキラした目
の似顔絵付き)をもち
て有頂天になり、更に歴
史探求への情熱を燃やし
ておられます。

私自身も歴史小説が大
好きで、吉川英治や司馬
遼太郎、山岡荘八などの
三国志や戦国時代の武将
の群雄割拠の物語を何回
も繰り返し読み、中学生
の頃にはパソコンゲーム
『信長の野望』にハマリ
何度も日本統一を成し遂
げており、風呂に入ると
好きな軍師や合戦の話で
盛り上がります。最近で
は、私の知らないような
マニアックなエピソード
も教えてくれます。

お気に入りの武将は真
田幸村のようで、夏休み
にはゆかりの地に遊びに
行きたかったのですが、
感染が収束しないため昨
年に引き続き今年も訪れ
ることができませんでし
た。

彼が選んだ夏休みの自
由研究は関ヶ原の戦いで
す。ダンボールで合戦場
の地形を作り、クリニッ
クで使用したワクチンの
ふたを使って東西両軍の
陣形を再現しました。も
ちろん新型コロナワクチ
ンのふたも大量に布陣に
使用されています。

西軍は左右山の上に、
平地にいる東軍を挟み込
むように対峙しており、

昔からユーモアには興
味があって、クレージー
キャッツや松竹新喜劇な
どのテレビ番組をよく見
ていた。それで自分も少
しはユーモア感覚があ
るつもりになっていた。
無論シモネタは法度と
心得ている。だが、私自
身の冗談はあまり受けな
い。「もうちょっとよく
考えてから口にしたらど
うなの？」と家人に言わ
れ、「タイミングが大事
なんだから……」と抗弁
する私は、他人から見た
ら随分と迷惑な存在だろ
う。

動したため、私が小説を
引き継ぐことになった。
物語の好評に対抗心を持
った私は、何とか面白く
しようと続きを書き進め
たのだが、これが大不評
だった。ある級友からは
「急に話がシボンだ」と
言われた。このことが、
自分のユーモアセンスに
対する自負心に漠然と疑
念を抱く端緒となった。

彼の絵も評判が良かった
が、新潟地震があった
たが、新潟地震があった
学級新聞は立ち消えとな
り、その後私も彼も別々
の中学校へ行ったために
疎遠になった。しかし、

ミニオ君は「パタリロ」
「翔んで埼玉」などで有
名な漫画家の魔夜峰央氏
になっていた。

私は福島県の浪江町に
生まれ、小学生の時に富
岡町夜ノ森に転居しまし
た。大学進学のために仙
台に来るまで、そこで生
活をしていました。

先日、解体業者と環境
省の職員との話し合いの
ため、数年ぶりに帰宅困
難区域となっている現地
を訪れました。話し合い
ではなかった。被災した
被災者や関係者の話を
聞きました。話し合いは
事務的に進み無事に終わ
り、あいさつをもって現
地解散となりました。

自然が失われるのは悲
しいと感じました。変わ
らない風景が見なくな
っていった川へ車を走ら
せました。私は偏屈なの
で、人の思い出があまり
なく、少年の頃は釣りを
したり山菜を探ったり、
自然の中でただ過ごした
りしていました。

車を走らせましたが変
わらない風景に出会うこ
とはありません。どこま
で走らせても川はコンク
リートに固められて死
んでいました。上流手前
の小道に車を止めて河原
まで歩いていき、座布団
の大きい岩の上に
座り込んで川を眺めてみ
ました。せせらぎが聞
えています。私が昔に経
験した美しい川は、両側
に木々が重なり合うよう
に立ち並び、枝や葉の隙
間から光が強く差し込む
こともあれば、木漏れ日
のように揺らいだりして
川の表情を変えているよ
うな、そのような生き物
でした。日の当たる葉は
いっそう青く、日陰は命
を守るためのような優し
さを感じさせていまし
た。

ところから深みに掛けて
少しずつコバルトブルー
に清流が沈んでいきま
す。とても静かです。餌
は川虫、野鳥の羽毛を羽
印として上流から仕掛け
を流せば、ある瞬間に命
との交信が響くので
す。合わせれば跳ね上が
る輝かしい魚体。宝石色
を身にまとったヤマメで
す。黒から灰色にグラデ
ーションの掛かった斑点
状の模様がこんなにもパ
ランス良く配置され、数
学的にも見えるのはなぜ
だろうとじっと見ていた
のを覚えています。美し
いものでした。

今、目の前の川には魚
の気配はありません。雨
の匂いが始めたので車
に戻りました。車を走ら
せているうちに本降りだ
す。人の姿の見えない長
い農道は刈り取られない
草に覆われ、更に雨に打
たれて草いきれが強くな
っています。むせるよう
な息苦しさだったのでカ
ーラジオを切りました。
雨音だけが静かなもの
です。

小学校の頃、ミニオ君
という同級生がいて、お
となしい生徒であった
が、少し世俗離れして
飄々とした言動に私は少
なからず興味を感じてい
た。6年生の1学期に学
級新聞を作ることにな
り、ミニオ君が連続読み
物を担当することになっ
た。1回目冒頭から、こ
れから何が起るのか読
者に期待を持たせるに十
分な、何とも滑稽な文体
で始まった。彼はたまに
おかしい絵を描くので、
第2号から挿絵係へと異

動したため、私が小説を
引き継ぐことになった。
物語の好評に対抗心を持
った私は、何とか面白く
しようと続きを書き進め
たのだが、これが大不評
だった。ある級友からは
「急に話がシボンだ」と
言われた。このことが、
自分のユーモアセンスに
対する自負心に漠然と疑
念を抱く端緒となった。

彼の絵も評判が良かった
が、新潟地震があった
たが、新潟地震があった
学級新聞は立ち消えとな
り、その後私も彼も別々
の中学校へ行ったために
疎遠になった。しかし、

ミニオ君は「パタリロ」
「翔んで埼玉」などで有
名な漫画家の魔夜峰央氏
になっていた。

私は福島県の浪江町に
生まれ、小学生の時に富
岡町夜ノ森に転居しまし
た。大学進学のために仙
台に来るまで、そこで生
活をしていました。

先日、解体業者と環境
省の職員との話し合いの
ため、数年ぶりに帰宅困
難区域となっている現地
を訪れました。話し合い
ではなかった。被災した
被災者や関係者の話を
聞きました。話し合いは
事務的に進み無事に終わ
り、あいさつをもって現
地解散となりました。

自然が失われるのは悲
しいと感じました。変わ
らない風景が見なくな
っていった川へ車を走ら
せました。私は偏屈なの
で、人の思い出があまり
なく、少年の頃は釣りを
したり山菜を探ったり、
自然の中でただ過ごした
りしていました。


車を走らせましたが変
わらない風景に出会うこ
とはありません。どこま
で走らせても川はコンク
リートに固められて死
んでいました。上流手前
の小道に車を止めて河原
まで歩いていき、座布団
の大きい岩の上に
座り込んで川を眺めてみ
ました。せせらぎが聞
えています。私が昔に経
験した美しい川は、両側
に木々が重なり合うよう
に立ち並び、枝や葉の隙
間から光が強く差し込む
こともあれば、木漏れ日
のように揺らいだりして
川の表情を変えているよ
うな、そのような生き物
でした。日の当たる葉は
いっそう青く、日陰は命
を守るためのような優し
さを感じさせていまし
た。

ところから深みに掛けて
少しずつコバルトブルー
に清流が沈んでいきま
す。とても静かです。餌
は川虫、野鳥の羽毛を羽
印として上流から仕掛け
を流せば、ある瞬間に命
との交信が響くので
す。合わせれば跳ね上が
る輝かしい魚体。宝石色
を身にまとったヤマメで
す。黒から灰色にグラデ
ーションの掛かった斑点
状の模様がこんなにもパ
ランス良く配置され、数
学的にも見えるのはなぜ
だろうとじっと見ていた
のを覚えています。美し
いものでした。

今、目の前の川には魚
の気配はありません。雨
の匂いが始めたので車
に戻りました。車を走ら
せているうちに本降りだ
す。人の姿の見えない長
い農道は刈り取られない
草に覆われ、更に雨に打
たれて草いきれが強くな
っています。むせるよう
な息苦しさだったのでカ
ーラジオを切りました。
雨音だけが静かなもの
です。

東京都
練馬区医師会報
第643号より

天下分け目の戦い
和田圭一郎



戦国武将に夢中です。
ダンボールで作ったお
手製の甲冑をつけ、手に
は槍と腰には100円シ
ョップで買ったおもちゃ
の刀を携え、「曲者、名
を名乗れ」と仕事帰りの
私に詰め寄ります。凝
り性な性格で、兜にはわ
が家の家紋を描き、前面
の角に当たるところはこ

祝儀袋の水引を取り付
け、胸には豊臣家の家紋
である五七の桐を描き、
背中には真田家の家紋で
ある六文銭を描いた大き
な指物をくくりつけて、
「いったいあなたはど
この武将?」と言う出で立
ちです。

「コロナ禍で友達と自由
に遊ぶこともままならな
いため、家で過ごす時間
が多くなりました。その
ような中『日本の歴史』
という学習漫画を親戚か
ら頂き、それだけで飽き
足らず戦国武将大辞典や
忍者図鑑などをずっと読
んでいるうちに歴史好き
になったようです。

最初に興味を持ったの
が家紋で、大名の家紋を
自由ノートにいくつも描
き、覚えたようです。町
を歩いているうちに、丸い家
紋らしきものを見つけた
とついピクンと反応して
しまい、「これはあの島
津家の家紋だよ」とか「柴
田家の家紋は鳥が2つな
んだよ」と得意になって

披露します。クラスの女
の子から「わだくんはれ
きしくわしくてすい
です」というお手紙(少
女漫画のキラキラした目
の似顔絵付き)をもち
て有頂天になり、更に歴
史探求への情熱を燃やし
ておられます。

私自身も歴史小説が大
好きで、吉川英治や司馬
遼太郎、山岡荘八などの
三国志や戦国時代の武将
の群雄割拠の物語を何回
も繰り返し読み、中学生
の頃にはパソコンゲーム
『信長の野望』にハマリ
何度も日本統一を成し遂
げており、風呂に入ると
好きな軍師や合戦の話で
盛り上がります。最近で
は、私の知らないような
マニアックなエピソード
も教えてくれます。

お気に入りの武将は真
田幸村のようで、夏休み
にはゆかりの地に遊びに
行きたかったのですが、
感染が収束しないため昨
年に引き続き今年も訪れ
ることができませんでし
た。

昔からユーモアには興
味があって、クレージー
キャッツや松竹新喜劇な
どのテレビ番組をよく見
ていた。それで自分も少
しはユーモア感覚があ
るつもりになっていた。
無論シモネタは法度と
心得ている。だが、私自
身の冗談はあまり受けな
い。「もうちょっとよく
考えてから口にしたらど
うなの？」と家人に言わ
れ、「タイミングが大事
なんだから……」と抗弁
する私は、他人から見た
ら随分と迷惑な存在だろ
う。

動したため、私が小説を
引き継ぐことになった。
物語の好評に対抗心を持
った私は、何とか面白く
しようと続きを書き進め
たのだが、これが大不評
だった。ある級友からは
「急に話がシボンだ」と
言われた。このことが、
自分のユーモアセンスに
対する自負心に漠然と疑
念を抱く端緒となった。

彼の絵も評判が良かった
が、新潟地震があった
たが、新潟地震があった
学級新聞は立ち消えとな
り、その後私も彼も別々
の中学校へ行ったために
疎遠になった。しかし、

ミニオ君は「パタリロ」
「翔んで埼玉」などで有
名な漫画家の魔夜峰央氏
になっていた。

私は福島県の浪江町に
生まれ、小学生の時に富
岡町夜ノ森に転居しまし
た。大学進学のために仙
台に来るまで、そこで生
活をしていました。

先日、解体業者と環境
省の職員との話し合いの
ため、数年ぶりに帰宅困
難区域となっている現地
を訪れました。話し合い
ではなかった。被災した
被災者や関係者の話を
聞きました。話し合いは
事務的に進み無事に終わ
り、あいさつをもって現
地解散となりました。

自然が失われるのは悲
しいと感じました。変わ
らない風景が見なくな
っていった川へ車を走ら
せました。私は偏屈なの
で、人の思い出があまり
なく、少年の頃は釣りを
したり山菜を探ったり、
自然の中でただ過ごした
りしていました。

車を走らせましたが変
わらない風景に出会うこ
とはありません。どこま
で走らせても川はコンク
リートに固められて死
んでいました。上流手前
の小道に車を止めて河原
まで歩いていき、座布団
の大きい岩の上に
座り込んで川を眺めてみ
ました。せせらぎが聞
えています。私が昔に経
験した美しい川は、両側
に木々が重なり合うよう
に立ち並び、枝や葉の隙
間から光が強く差し込む
こともあれば、木漏れ日
のように揺らいだりして
川の表情を変えているよ
うな、そのような生き物
でした。日の当たる葉は
いっそう青く、日陰は命
を守るためのような優し
さを感じさせていまし
た。

ところから深みに掛けて
少しずつコバルトブルー
に清流が沈んでいきま
す。とても静かです。餌
は川虫、野鳥の羽毛を羽
印として上流から仕掛け
を流せば、ある瞬間に命
との交信が響くので
す。合わせれば跳ね上が
る輝かしい魚体。宝石色
を身にまとったヤマメで
す。黒から灰色にグラデ
ーションの掛かった斑点
状の模様がこんなにもパ
ランス良く配置され、数
学的にも見えるのはなぜ
だろうとじっと見ていた
のを覚えています。美し
いものでした。

今、目の前の川には魚
の気配はありません。雨
の匂いが始めたので車
に戻りました。車を走ら
せているうちに本降りだ
す。人の姿の見えない長
い農道は刈り取られない
草に覆われ、更に雨に打
たれて草いきれが強くな
っています。むせるよう
な息苦しさだったのでカ
ーラジオを切りました。
雨音だけが静かなもの
です。

勤務医のページ



産婦人科医が子育て支援をする意義

東京大学産科婦人科学教室／
Connected Industries 株式会社代表取締役
園田正樹

今後どのように変わっていくか、私見を述べたい。

産婦人科の専攻医だった頃、所属先の部長が若手の提案を積極的に受け入れてくれる方で、帝王切開術の皮膚切開の縦から横への変更や、産後すぐの風しんワクチン接種勧奨、HPV検査の導入など、担当患者以外にも貢献する経験をした。

専門医取得後は大学院に進み、公衆衛生学を専攻して虐待リスクのある社会的ハイリスク妊婦の研究に取り組んだ。その折に、北里大学の海野信也教授から日本産科婦人科学会の医療改革委員会にお誘い頂き、分娩施設

の集約化などについて全国の先生方と議論する機会を頂戴した。他にも、新規産婦人科医の減少が続く状況を打開すべく発足した委員会に参加し、

新産婦人科医の数がV字回復する場面にも立ち会ったことができた。

こうした経験から、大学院などが開くヘルスケア・リーダーシップの研究に参加し、社会に対して自分ができることを模索したことが、人生の転

換点となった。

り、これらの課題解決を目指す会社を立ち上げて、病児保育支援システムを開設した。

医療以外の知見がない私が取り組む開発は多難で、リリースまでに約3年を要したが、志あふれる施設スタッフの存在に支えられ、当社は現在、同システムの提供だけでなく、調査研究や政策提言など、取り組みの幅を広げつつある。

病児保育との出会い

子育ての悩みを聞く中で「子どもの風邪で欠勤が重なり、評価が下がり、職場への申し訳なさもあって退職した」という方に出会った。こうした問題の解決策を探る中で出会ったのが「病児保育」だ。軽症だが保育所では預かることができない子どもの一時保育を担う行政サービスを、私は当初「女性の就労支援」と捉えていた。

しかし、実際に施設を訪れたことで、病児保育に対して抱いていた印象の誤りに気付かされた。病児保育の本質は「子どもも支援」であり、「子育て支援」だったのだ。子どもの状態に合わせてケアと保育を行う病児保育は、医療の専門性を持たない保護者が行うケアと同等以上に、子ども本人にとって最適な時間が提供されるのだ。

更に、全国の施設を訪れる中で、利用率が非常に低いことや、多くの施設が赤字経営であること、保護者のニーズと比べて認知度が低いこと、利用手続きが煩雑で使い勝手が悪いことなどを知

り、これらの課題解決を目指す会社を立ち上げて、病児保育支援システムを開設した。

医療以外の知見がない私が取り組む開発は多難で、リリースまでに約3年を要したが、志あふれる施設スタッフの存在に支えられ、当社は現在、同システムの提供だけでなく、調査研究や政策提言など、取り組みの幅を広げつつある。

バイオ・サイコ・ソーシャルな支援を

私は医療ではなく子育て支援に従事しているが、ここには産婦人科医としての信念がある。

日本の妊産婦死亡数は年間40名前後で、世界的に見ても少ない。一方、生児出産後1年未満の母親の自殺は2年間で92件と多いことが国立成育医療研究センターから報告された。

通常、産婦人科医は産後1カ月でフォローを終えるが、その数カ月後に不幸な転帰をたどる方がいる。これは、一産婦人科医として恐ろしい事実であった。

ユニセフによる2020年の調査報告では、先進38カ国で日本の子どもの身体的健康は1位、精神的健康は37位。身体的な健康は達成されてきた一方で、10代の自殺や子どもの貧困は引き続きの課題である。

勤務医のひろば

有能なチームとは

京都府医師会理事／京都大学
医学部附属病院医療安全管理部教授 松村由美



だが、これを機に考え方も変わり、自分の役割を認識し、立場を考えるようになった。

医療安全は「患者安全」と言い換えた方が良いかも知れない。患者さんが安全で良い医療を受けられるように体制を整えることが、私の業務の最大の目標である。目標が明確なので、ぶれずに進む。

男女共同参画も、医師の労務管理も、「患者さんにとって良い医療になるためにはどうするべきか」という視点で考えることができる。

医師会には、最初は医療安全の立場で関わるところで、意外なことに、院内の人事異動によって、医療安全管理室長を拝命した。自分の人生の中で予想外のことであった。

縁があり、2011年、院内の人事異動によって、医療安全管理室長を拝命した。自分の人生の中で予想外のことであった。

うになり、ワークライフバランスや勤務医部会にも参加することになった。そして、前期理事会より、大病院から初めて理事として加わることになり、京都府医師会の活動に参加させて頂いた。

理事会では、「医師としてどうあるべきか」という熱い議論を聞くことができ、医療を広い視点で見られることを教えて頂き、心洗われた3年間だった。

議論の際には常に「これは患者さんのためになるか」という共通の認識があり、必要だと判断されれば、すぐに新しい仕掛けがある。

支援を必要とする人々と、支援の取り組みをつなぐ架け橋として、我々専門家が機能するべきなのだ。

2024年の医師の働き方改革に向けて

組みができて、行政や外部組織ともつながることは素晴らしい。特に、この2年間の新型コロナウイルスに対する京都府医師会理事としての対応では、「医療安全の世界で重視されているチーム・ビルディングを体感することができた。

タイトルにもある「有能なチーム」は、「有能者からなるチーム」と対比して説明されることがある。患者さんの安全に関わる仕事や医師会の活動に参加でき、信頼できる方々との出会えたことは、私にとって無形の財産になったと思う。

間の低減に向けて、看護師のように1カ月前に勤務時間を決める変形労働時間制を導入する病院が増えるかも知れない。

夜勤明けが帰宅となり、日勤の医師数が減れば、短時間勤務者は「フルに働けないマイナスの存在」ではなく、足りない医師数を補う必要不可欠な人材となるはずだ。こうした子育て世代の医師を擁する医療現場のあり方も左右する病児保育という事業に、今後も全力で取り組んでいきたい。

最後に、成育医療等協議会に推薦頂いた学会の先生方、これまで支えてくださった方々に、心からの感謝を伝えたい。このご恩に、これからの活動で報いたい。

成育基本法の基本方針でも、バイオ・サイコ・ソーシャルの観点から切れ目なく包括的に支援する旨が記されている。こ

成育基本法の基本方針でも、バイオ・サイコ・ソーシャルの観点から切れ目なく包括的に支援する旨が記されている。こ

成育基本法の基本方針でも、バイオ・サイコ・ソーシャルの観点から切れ目なく包括的に支援する旨が記されている。こ

成育基本法の基本方針でも、バイオ・サイコ・ソーシャルの観点から切れ目なく包括的に支援する旨が記されている。こ

成育基本法の基本方針でも、バイオ・サイコ・ソーシャルの観点から切れ目なく包括的に支援する旨が記されている。こ



病児保育室の実際の様子